

① 生徒の登校時間帯に災害が起きた場合



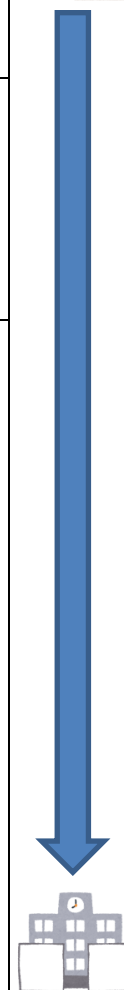
スクールバス利用の生徒



一人通学・付き添い通学の生徒



乗車前	■保護者が安全を確認し、保護者とともに帰宅する ■自宅→バス停までを一人通学練習中の場合 ⇒保護者が通学路に沿って自宅からスクールバス停までを追跡し、安否確認する	
乗車中	①学校がスクールバス現在位置を確認し、乗車生徒の安否確認 ↓ ②学校が「そのまま学校に向かう」「その場にとどまる」「近隣の避難所へ避難する」を判断し、スクールバスに指示 ↓ ↓	
	『そのまま学校に向かう』 ①登校後は校内の安全な場所に避難 ②学校が以下の方法で生徒引き取りの連絡をする (1) マチコミメール (2) X (旧 Twitter) (3) 学校ホームページ (4) 災害用伝言ダイヤル (5) 電話※必要に応じて ③学校に提出している『緊急連絡カード』に記載された保護者または親族の方が学校に引き取りに来る。保護者の皆様は、御自身の安全を確保した上で慌てず引き取りにきてください	『その場にとどまる』 『近隣の避難所へ避難』 ① 学校が停車または避難したコースの避難場所を保護者に連絡する (マチコミメール、X (旧 Twitter)、学校ホームページ、災害用伝言ダイヤル、電話※必要に応じて) ② バス停車位置まで複数の教員(スクールバス担当他) が向かう ③ 停車中のバスまたは避難所で生徒を保護者へ引き渡す



徒歩のみ		公共交通機関利用
①学校が保護者へ連絡 (1) マチコミメール (2) X (旧 Twitter) (3) 学校ホームページ (4) 災害用伝言ダイヤル (5) 電話※必要に応じて ②保護者が自宅→学校へ通学路をたどり、安否確認する	徒歩区間	①学校が保護者へ連絡 (1) マチコミメール (2) X (旧 Twitter) (3) 学校ホームページ (4) 災害用伝言ダイヤル (5) 電話※必要に応じて ②保護者が携帯電話、GPS 機能で本人と連絡を取り安否確認する
		交通機関利用時
		①保護者が利用交通機関の運行状況を確認する ②保護者が通学時間帯と運行状況から推定される、生徒の現在位置を学校に連絡する ③保護者が自宅→利用交通機関→学校への通学路をたどり、安否確認する
		徒歩区間
		① 学校が、学校→生徒の利用駅やバス停への通学路をたどり、確認する

② 生徒の**在校時間帯**に災害が起きた場合



校内での活動中

- ①ただちに授業を中断し、生徒は校内の安全な場所に避難する
- ②学校が以下の方法で生徒引き取りの連絡をする
- (1) マチコミメール
 - (2) X (旧 Twitter)
 - (3) 学校ホームページ
 - (4) 災害用伝言ダイヤル
 - (5) 電話※必要に応じて
- ③学校に提出している『緊急連絡カード』に記載された保護者または親族の方が学校に引き取りに来る



- 震度6以上の大地震が発生した場合は、下校のスクールバスは運行しません
- 生徒は学校の安全な場所で待機しています
- 災害の状況により、今後の対応について学校から、上記の連絡手段により御連絡いたします。



校外での活動中

- ① ただちに活動を中断し、近隣の安全な避難場所に避難する
歩行地点が学校の周辺の場合は、安全を確保した上で学校に戻る
- ②学校が以下の方法で、保護者へ生徒の一時避難場所を連絡
- (1) マチコミメール
 - (2) X (旧 Twitter)
 - (3) 学校ホームページ
 - (4) 災害用伝言ダイヤル
 - (5) 電話※必要に応じて
- ③保護者が生徒の一時避難場所（足立特別支援学校）に引き取りに行く
- 徒歩区間
- 交通機関
施設等
利用時
- ①活動中の施設の指示に従い、安全な場所に避難する
- ②学校が以下の方法で、保護者に生徒の一時避難場所を連絡する
- (1) マチコミメール
 - (2) X (旧 Twitter)
 - (3) 学校ホームページ
 - (4) 災害用伝言ダイヤル
 - (5) 電話※必要に応じて
- ③保護者が生徒の一時避難場所に引き取りに行く



③生徒の下校時間帯に災害が起きた場合



スクールバス利用の生徒

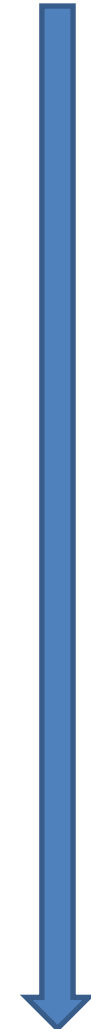


一人通学・付き添い通学の生徒



放課後等デイサービス利用の生徒

乗車中	①学校がスクールバス現在位置を確認し、乗車生徒の安否確認 ↓ ②学校が「そのまま運行する」「その場にとどまる」「近隣の避難所へ避難する」を判断し、スクールバスに指示 ↓ ↓	
	『運行を続ける』 保護者はマチコミメールなどの遅延連絡に注意しながら、通常のお迎え。	『その場にとどまる』 『近隣の避難所へ避難』 ①学校が停車または避難したコースの避難場所を保護者に連絡する（マチコミメール、X（旧 Twitter）、学校ホームページ、災害用伝言ダイヤル） ②バス停車位置まで複数の教員（スクールバス担当他）が向かう ③停車中のバスまたは避難所で生徒を保護者へ引き渡す
	■保護者が安全を確認し、保護者と帰宅する ■バス停→自宅までを一人通学練習中の場合、保護者が必ずスクールバス停まで迎えに行き、安否を学校に連絡する	



徒歩のみ		公共交通機関利用		
①学校が保護者へ連絡 （１）マチコミメール （２）X（旧 Twitter） （３）学校ホームページ （４）災害用伝言ダイヤル （５）電話※必要に応じて ②保護者または学校が、学校→自宅方向へ通学路をたどり、安否確認する	徒歩区間 	①学校が保護者へ連絡 （１）マチコミメール （２）X（旧 Twitter） （３）学校ホームページ （４）災害用伝言ダイヤル （５）電話※必要に応じて ②保護者が携帯電話、GPS 機能で本人と連絡を取り安否確認する	下校前	① 学校が生徒を安全な場所に避難 ②学校がマチコミメール、X（旧 Twitter）、学校ホームページ、災害用伝言ダイヤルで、電話※必要に応じて、で保護者に連絡 ④ 学校に提出している『緊急連絡カード』に記載された保護者または親族の方が学校に引き取りに来る
	交通機関利用時 	①保護者が利用交通機関の運行状況を確認する ②保護者が通学時間帯と運行状況から推定される、生徒の現在位置を学校に連絡する ③保護者または学校が自宅→利用交通機関→学校への通学路をたどり、安否確認する	下校後引渡後	① 保護者が利用事業所に連絡し安否確認
	徒歩区間 	① 保護者が、自宅→生徒の利用駅やバス停への通学路をたどり、確認する		

足立特別支援学校

簡易防災マニュアル

令和7年4月 防災安全部

足立特別支援学校	電話：03（3850）6066 FAX：03（3860）3790	
X（旧 Twitter）		https://twitter.com/adachi_tokushi
足立特別支援学校ホームページ		https://adachi-sh.metro.ed.jp/
災害用伝言ダイヤル	171 ⇒ （暗証番号なし）2 ⇒ （被災地番号）0338506066 ⇒ 再生	